

# 新概念超平滑研削法によるナノメートルレベル

## 平坦面生成技術の検討（第1報）

### —平坦度に及ぼす研削方向平行間欠送り量の影響—

大学院自然科学研究科 教授 安井 平司

大学院自然科学研究科 後期課程 山本 雄記

大学院自然科学研究科 前期課程 坂本竜司郎

先に、超平滑仕上面生成で有用性を確認した、新概念超平滑研削法の加工平坦性に及ぼす研削方向平行間欠送りの影響を検討した。256mm 角の微小面積では超平滑仕上面となるが、研削現象により、20mm 角の大面积での平坦度は悪くなる。それでも、炭化けい素の場合に約 500nm(Rz)の非常に良い平坦度が得られた。

精密工学会誌, Vol.73, No.3, pp.345-349